

令和 2 年度事業報告書

社会福祉法人名古屋市中区社会福祉協議会

I 第4次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2019」の推進

令和元年度から令和5年度を計画期間とする第4次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2019」を推進するため、住民参画のもと2部会および推進委員会体制を敷いて、計画実施項目に基づいた具体的な事業を企画・実施しました。

部会等	実施回数	主な協議内容（基本計画）
推進委員会	2回	・令和元年度から現在までの取り組み ・令和2年度の振り返り ・令和3年度の推進方針
つぶやき・キャッチ	部会1回 書面開催1回	・今後取り組む重点事項の選定 ・つぶやける場の調査、地域共生社会の意識啓発についての意見集約 ・意見集約内容の協議
ともいく（共育）	部会4回	・ボランティア活動の情報収集と発信 ・ボランティア活動を始めるきっかけづくり ・多様な人々を理解し思いやる意識づくり ・誰もが行きたくなる店舗の増加につながる支援

1 基本目標Ⅰ 地域福祉活動の充実と専門職とのネットワークづくり

「小地域ごとに福祉ニーズをつかみ、それに対し住民や専門職の連携により解決する仕組みをつくる」

(1) 地域の福祉活動者と専門職のネットワーク拡充[基本計画1]

実施項目① 地域福祉活動者と専門職等の顔の見える関係をつくる

※令和2年度は実績なし

(2) 福祉課題の協議の場の拡充[基本計画2]

実施項目② 地域福祉課題について話し合う機会（協議の場）の充実

「天白学区福祉プラン」の推進にあたり、学区担当者を通じて支援しました。

実施項目③ 小地域ごとのニーズやつながり・潜在的ボランティアの可視化

⇒平針南学区で年10回地域支えあいマップの更新作業を行い、地域の様子を確認しました。

(3) 人と人のつながりの中で、その地域の福祉ニーズや個々の困りごとをキャッチする[基本計画3]

実施項目④ 身近な地域に困りごとを「つぶやける場」を増やす

実施項目⑤ 地域共生社会を目指した意識啓発

⇒年2回部会を開催（内1回は書面開催）し、意見交換を実施しました。

2 基本計画Ⅱ 福祉環境づくり

ボランティア活動に気軽に参加できる環境を整えるとともに、地域で暮らす多様な人々がお互いに認めあえる（共に生きようとする気持ちを育む）環境をつくる

(1) 気軽にできることからボランティア活動を始められる環境をつくろう

[基本計画4]

実施項目⑥ ボランティア活動の情報収集と発信

- ❶ 本会に寄せられる各種ボランティア活動にかかわるチラシや情報紙を窓口や掲示板を活用して設置しました。
- ❷ 募集されているボランティア活動の内容を集約・公表できる様式を活用し、募集元に記入していただいた様式を掲示板で公表しました。
- ❸ 天白区で活動しているボランティアグループの活動情報冊子を更新し、窓口・掲示板・ホームページによる周知の他、部会委員の所属機関に設置・配布をしました。
- ❹ 本会が発行・全戸配布している情報紙「ぱわわ」にて、部会の取り組み、ボランティア活動の魅力等を紹介しました。
- ❺ ボランティア活動啓発チラシ「ちょっとしたことからできるボランティア活動」を窓口や掲示板、部会委員の所属機関に設置・配布をしました。

実施項目⑦ ボランティア活動を始めるきっかけづくり

- ❶ ボランティア活動紹介パネルの展示や、ボランティア活動にかかわる情報提供や相談を行う「出張ボランティア展」を2回開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた出張先イベントが中止なり、代わりに実施できるイベント等のあてがなく、新型コロナウイルスの収束も見込めず不実施としました。
- ❷ ボランティア活動につなげられそうなグループへのアプローチとして、令和元年度から継続していた取り組みを行いました。

出張先	天白生涯学習センター利用調整会
日にち	6月1日(月)
場所	天白生涯学習センター
参加人数	38人

(2) 共に生きようとする気持ちを育む環境をつくろう[基本計画5]

実施項目⑧ 多様な人々を理解し思いやる意識づくり

多様な人々が出会い、楽しみながら交流できる機会づくりを1回開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため不実施とし、令和3年度に企画実施ができるように内容の検討を進めました。

実施項目⑨ 誰もが行きたくなる店舗の増加につながる支援

高齢者、障がい者、子ども連れの方などに、外出先の店舗等で困った事例や良かった・助かった事例、どのような配慮(人の対応による配慮、設備・環境による配慮)があれば利用しやすいかを把握するために、「外出先の店舗での困りごと等に関するアンケート調査」を作成し、調査を実施しました。

Ⅱ 継続事業の推進

1 地域福祉推進協議会（推進協）関連

（1）推進協の活性化

各学区に設立されている地域福祉推進協議会の活動を支援するために、本会の職員（コミュニティワーカー）の学区担当を配置し、運営の相談・援助・必要経費の一部の助成を行いました。

① 会長・担当者事務説明会

開催日	9月25日(金)	2月16日(火)・17日(水)
内 容	・コロナ禍における地域福祉活動への対応について ・助成金の使途について	・コロナ禍における地域福祉活動への対応について ・助成金の報告、申請について
参加者	30名	36名

② 推進協研修会

開催日	11月17日(火)
内 容	・地域支えあい事業について ・なごや子ども応援委員会について(子どもの見守り活動について)
参加者	21名

（2）活動内容への支援

① 推進協活動経費の助成

17学区にある地域福祉推進協議会に活動経費の一部を助成しました。

【令和2年度助成額】 4,666,944円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による事業中止等で確定した助成額

（各学区の主な実施事業）

学区名	ふれあいいきいきサロン	子育てサロン	ふれあいネットワーク活動	福祉学習会等	健康体操等	地域支えあい事業
平針南	○	○	○			○
平針	○	○	○	○	○	
平針北	○	○			○	○
原	○	○				
植田	○	○				
植田南		○		○		
植田北	○	○				
植田東	○	○				
大坪	○	○				
八事東	○	○				
表山	○	○				○
天白	○	○				
山根	○	○	○	○		○
しまだ	○	○		○	○	○
高坂	○	○	○	○	○	○
相生	○	○	○	○		
野並	○	○		○		

② ふれあい給食サービス事業への助成・支援

高齢者等が一堂に会して食事をする会食事業と高齢者等の自宅に食事を配達する配食事業に実施回数および平均参加者数に応じた助成金を交付しました。

また、令和2年度は会食での開催が難しく、食を介した交流（会食代替）事業を中心に実施しました。

【令和2年度助成額】 768,720円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による事業中止等で確定した助成額

学区名	会食	会食代替	配食
平針南		○	○
平針北		○	
原	○		
植田		○	
植田南		○	
植田北		○	
大坪		○	
八事東		○	
表山			
天白		○	
山根		○	
しまだ			
高坂			
相生		○	

2 ふれあい・交流イベント関連

(1) ふれあい・交流の場づくり

「天白区福社区民のつどい」「民生バザー」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。なお、「まつり天白」の中止に伴い、「民生バザー」も中止しました。

(2) 福祉活動者のつながるための場づくり

① ふれ愛ネット天白への支援

ボランティアや当事者団体、福祉施設などで組織されている「ふれ愛ネット天白」の運営と事業を支援しました。

部会	目的	活動内容
ふれあい部会	会員相互の交流・連携を深め、会員のスキルアップを目指す部会	ボッチャ交流会（コロナで中止）
		やみなべ交流会（コロナで中止）
PR部会	区民に対して情報発信を行うとともに、会員相互の情報交換を目指す部会	・情報紙「ばわわ」への情報掲載（年3回） ・マスコットキャラクターにこっちの活用

3 地域活動支援関連

(1) 地域団体及び当事者団体への助成(赤い羽根共同募金助成金)

事業名	金額	助成先等
子育て・子ども支援関係	448,225 円	区子ども会連合会、学童保育 等
障がい関係	128,777 円	手をつなぐ育成会
地域福祉関係	2,925,000 円	17 学区推進協
福祉団体関係	16,094 円	天白区安心で安全なまちづくり協議会

【助成総額】 3,518,096 円 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による事業中止等で確定した助成額

(2) その他の助成(本州建設特別助成金)

天白区ブックスタート事業への助成を行いました。

4 ボランティア関連

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する総合窓口として、ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動に関する相談や活動の調整、情報の提供、保険の受付を行いました。

①ボランティアニード対応状況

対応完了件数	対応状況		
	登録ボラ調整	その他調整	対応不可(依頼取り下げ含む)
121 件	85 件	19 件	17 件

②ボランティア登録状況

ボランティア登録	個人	144 人
	団体	158 団体 (3,696 人)

(2) ボランティア活動の企画・実施

①点字教室の開催

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

② 視覚障がい者ガイドボランティア養成講座の開催

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

③高齢者擬似体験ボランティア養成講座の開催

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

④シーンボイスガイド付き映画上映会の開催

シーンボイスガイドについての理解を深めることを目的に、ボランティアグループ「ボイス・ケイン天白」と共催でガイド付きの映画上映会を開催しました。

	第1回	第2回
開催日	令和2年8月2日(日)	令和3年2月28日(日)
会場	天白区在宅サービスセンター研修室	
参加者	10 名	新型コロナウイルスの影響で中止
タイトル	心が叫びたがってるんだ。	男はつらいよ お帰り寅さん

(3) 既存のボランティアのスキルアップ

①ボランティアの組織化・機能化

福祉教育における学習サポートを行うボランティアグループの機能促進のために、定例会を開催しました。ただし、下記の体験は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

- ・はなぐるま（車いす体験）年4回
- ・エルダーコンシェルジュきんもくせい（高齢者疑似体験）年5回

②災害ボランティアセンターの設置・運営訓練

（防災ボランティアグループ「天白でいぷり」協力）

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

5 福祉情報関連

(1) 地域の福祉情報紙「ばわわ」の発行

本会の知名度向上と区民の福祉への関心を高めることを目的に、区内の福祉情報を提供する情報紙「ばわわ」を年3回発行しました。

【発行月】65号（9月）、66号（12月）、67号（3月）

【発行部数】各57,300部

【配布先】中日新聞折り込み及びポスティングによる各戸配布、本会窓口、天白区内公所、福祉施設、コミュニティセンターなどでの配布。

(2) ホームページの運営

社協活動を区民に広く知ってもらうとともに、リアルタイムにボランティア活動情報や福祉イベント情報を提供するため、ホームページをリニューアルしました。

【HPアドレス】<http://www.tenpaku-shakyo.com>

6 財源関連

(1) 会員及び賛助会員の募集・拡充

会 員		賛助会員	
区政協力委員会	17団体	個人会員	446件
民生委員児童委員協議会	17団体	法人・団体会員	25件
社会福祉施設	22施設		
社会福祉関係団体	8団体		
ボランティア活動団体	8団体		
地域関係団体	5団体		
77団体	171,000円	471件	673,000円

(2) 赤い羽根共同募金への協力

	実 績 額
赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）	9,052,762円
歳末たすけあい運動（12月1日～12月31日）	358,422円

○赤い羽根協賛書道・ポスター作品展

【期間及び場所】 10月17日～10月30日 天白図書館展示スペース

【応募総数】 書道 24校 129点 ポスター 22校 94点

○啓発活動

・街頭募金 10月1日 26,175円

地下鉄植田・原駅前にて、区政協力委員及び民生委員児童委員を中心にご協力いただきました。

(3) 災害義援金

平成28年熊本地震義援金	31,347円
平成30年度7月豪雨災害義援金(中央共募)	1,132円
令和元年台風第19号災害義援金(中央共募)	6,600円
令和2年7月豪雨災害義援金(中央共募)	51,382円
令和2年7月岐阜県豪雨災害義援金	10,000円
令和2年7月豪雨災害義援金(長野県)	15,633円
令和2年7月山形県豪雨災害義援金	12,085円
令和3年2月福島県地震災害義援金	3,215円

(4) 寄附金・寄贈の受入れ

	寄附金	寄贈品
件数	10件	1件
寄附金額および寄贈品	495,506円	車いす1台(19,980円分)

III 受託事業

1 高齢者はつらつ長寿推進事業

65歳以上の高齢者を対象に健康体操やレクリエーションなどを通じ、介護予防や仲間づくりを行う「高齢者はつらつ長寿推進事業」を地域や学校、ボランティアの協力を得ながら区内8か所で実施しました。新型コロナウイルスの影響で、前期は約1か月、後期は約3か月の実施となりました。

曜日	AM PM	実施会場	前期			後期		
			延べ回数	実参加者数※1	延べ参加者数	延べ回数	実参加者数※2	延べ参加者数
月	AM	在宅サービスセンター	5	10	45	11	22	195
	PM	植田南コミセン	5	11	52	11	24	231
水	AM	大坪コミセン	6	20	106	14	23	291
	PM	おおね荘 第3集会所	6	17	91	14	22	267
木	AM	平針南コミセン	4	17	62	13	21	253
	PM	山根コミセン	4	18	68	13	19	209
金	AM	野並小特活室	4	18	29	7	14	73
	PM	高坂荘 第2集会所	4	18	67	13	19	203

※1・・・9月末時点

※2・・・3月末時点

2 名古屋市地域支えあい事業

生活の困りごとを抱えた方に対し、近隣住民同士でちょっとした手助けを行う生活支援や、ひとり暮らし高齢者等を対象とした見守り活動等を6学区で実施しました。

学区	表山	高坂	山根	しまだ	平針南	平針北
登録ボランティア数	68名	125名	139名	124名	200名	52名
活動延人数	166名	3,384名	3,220名	1,726名	2,740名	205名
ボランティアポイント数※	1,557P	11,818P	6,510P	9,611P	11,549P	1,422P
認定事業数	7事業	14事業	7事業	6事業	11事業	5事業
生活支援事業	お助けシステム	おたすけ高坂	やまねお助け隊	ちょボラお助け隊	お助け活動	ちょこつとボランティア平北
生活支援利用登録者数	23名	39名	47名	51名	43名	10名

※1ポイント10円で換算し、翌年度実施主体の各学区推進協へ還元

3 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会の実施する生活福祉資金貸付事業の相談や、償還指導の窓口として運営に協力しました。

資金の種類		相談件数	貸付件数	金額
総合支援資金	生活支援費	23件	0件	0円
	住宅入居費	0件	0件	0円
	一時生活再建費	0件	0件	0円
福祉資金	福祉費	56件	0件	0円
	緊急小口資金	88件	0件	0円
教育支援資金		19件	1件	643,000円
不動産担保型生活資金		10件	0件	0円
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0円
合計		196件	1件	643,000円

新型コロナウイルス特例貸付

資金の種類	相談件数	貸付件数	金額
緊急小口資金（特例）	4,412件	1,357件	234,160,000円
総合支援資金（特例）	3,022件	574件	230,174,000円
合計	7,434件	1,931件	464,334,000円

4 緊急小口資金償還事務

緊急小口貸付事業の貸付金の償還事務を行いました。

償還金額	0円
貸付中件数	1件(令和3年3月末現在)

5 名古屋市高齢者サロンの整備等生活支援推進事業

(1) ふれあい・いきいきサロンの設置・運営支援

新規サロンに対し開設助成を、実施サロンに運営助成を行いました。

開設助成 【助成団体】 1 団体 【助成決定額】 50,000円

運営助成 【助成団体】 36 団体(延べ) 【助成決定額】 674,000円

(2) 生活支援部会（協議体）の運営

天白区での地域包括ケアシステムの構築を図るため「生活支援部会」を地域包括ケアの作業部会に位置づけ、その事務局を運営しました。

①部会の開催

【開催日】 8月6日、12月7日、2月9日（計3回）

※12月、2月については書面開催

②取り組み内容

地域活動者や専門職が感じている地域課題や個別課題・ニーズを整理し、今後部会として取り組んでいく生活課題について協議しました。また、「わたしの応援ノート」の紹介と記入方法の説明を実施しました。

IV 関係機関との連携・協力

1 学校関係

区民の福祉意識の向上やボランティア活動への関心を高めることを目的に、学校での福祉教育の振興・福祉体験活動を支援しました。学校や地域に対して手話や点訳、アイマスク、車いす、高齢者擬似体験などのプログラムを提案し、講師やボランティアの調整、講演会、資材の貸出を行いました。

対象	学校数	体験件数*	延べ人数
小学校	7校	11件	789名
中学校	2校	2件	158名
高等学校	0校	0件	0名
専門学校	1校	1件	48名
合計	10校	14件	995名

*体験件数の種類別

体験の種類	合計	内 訳
車いす	1件	小学校1、※専門学校貸出のみ対応あり
アイマスク	5件	小学校5
高齢者疑似	4件	小学校2、専門学校2
点字	0件	※小学校貸出のみで対応あり
手話	4件	小学校2、中学校2件
交流	0件	
合計	14件	

2 行政関係

生活困窮者に対する応急的援助

被保護者や要援護者の緊急不測の事態に対し、応急的に資金の貸付を行うことで、自立更生意欲の助長と生活の安定を図ることを目的に、事業を行いました。
(区役所保護係に委託)

【実績】102件

3 NPO法人

本会とコンソーシアムを組んだNPO法人たすけあい名古屋が、指定管理者として実施する天白福祉会館の管理・運営業務に協力しました。

4 各種団体

(1) 天白区障害者自立支援連絡協議会への協力

授産製品の販売（マーガレットマルシェ）や福祉施設の職員などを対象とした研修会、障がい者の作品展などの企画や運営に協力しました。

(2) 天白区子育て支援ネットワーク連絡会への協力

地域における子育て支援関係者のネットワーク連絡会に参加しました。

V 施設の管理・運営

1 在宅サービスセンター

区社協の事務所がある原ターミナルビルの同フロアを活用し、在宅福祉サービスと地域における福祉活動を総合的に推進するための拠点として「在宅サービスセンター」を運営しました。

(1) 在宅サービスセンター施設利用状況

部屋	延べ利用団体数	利用者数
研修室	111団体	1,172名
ボラ室※	0団体	0名
点訳室	57団体	95名
録音室	41団体	300名

※令和2年度のボランティア室は、生活福祉資金貸付事務で利用のため通常利用は無し

(2) 車いすの貸出

一時的に車いすの使用が必要になった方の生活支援や、教育機関等における福祉教育の推進を目的に、車いすを貸し出しました。

一般貸出	47件
教育機関、地域団体等	2件

2 天白児童館（地域子育て支援拠点）

NPO法人たすけあい名古屋とのコンソーシアムによる指定管理者として名古屋市天白児童館を管理・運営し、児童や子育て家族を支援する事業を実施しました。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため6月1日まで一般利用を含めほとんどの事業が休止となりました。事業再開後も感染予防対策徹底のため利用を制限し、多人数が集まるイベントは中止しました。

(1) 子ども育成事業

遊びを通して子どもたちの心身の健やかな成長を図り、情操を豊かにする季節・文化など8事業を延43回実施し246名が参加しました。

子どもが主体となり企画・運営する“キッズタウン”は中止しましたが、子どもが意見表明する“子どもサミット（1回15名）”を実施するとともにアンケート（121名）を実施し、子どもの意見を児童館運営に生かす機会としました。

また、中高生が集い適切なサポートにより自主的に活動する場や機会を提供する中高生の居場所づくり事業“中高生のJI・KAN”（毎週金曜日35回延96名）を実施しました。

(2) 子育て支援事業

年齢に応じた子育て支援を充実し、より多くの親子が楽しめる事業を実施しました。また、親育ちにつながる「離乳食を学ぼう」などの事業を実施しました。

事業名	開催数	人数
親子体育（2歳以上の幼児と保護者）	18回	延259名(128組)
たのしいリトミック（1歳以上の幼児と保護者）	10回	延199名(97組)
幼児のつどい（1歳以上の幼児と保護者）	10回	延148名(73組)
絵本であそぼう（乳幼児と保護者）	6回	延81名(40組)
てんてん広場（0・1歳児と保護者）	中止	
ちびっこ体操（0・1歳児と保護者）	7回	延134名(66組)
コンビカーであそぼう（乳幼児と保護者）＊屋内遊園の代替	5回	延14名(7組)
サロンdeじどうかん（乳幼児と保護者）	中止	
あかちゃんタイム（1歳未満の乳児と保護者）＊すまいるベビーの代替	1回	24名(12組)
離乳食を学ぼう（乳幼児と保護者）	3回	延32名(17組)
親支援講座（乳幼児と保護者）	中止	
産後バランスボールエクササイズ（0歳児と保護者）	中止	
節分あそびをしよう！（乳幼児と保護者）	1回	26名(12組)
おひさまルーム（0歳児と保護者）	1回	14名(7組)

(3) 留守家庭児童クラブ(H31.3.31事業廃止)

(4) クラブ活動

前期は中止しましたが、後期は感染予防対策を徹底した上で、将棋クラブ始め4クラブを実施し、異年齢や他学区の児童との交流を促進しました。

事業名	開催数	参加人数(在籍)	事業名	開催数	参加人数(在籍)
将棋クラブ	8回	延106名(16名)	絵画クラブ(後期のみ)	8回×1期	延109名(16名)
卓球クラブ	8回	延81名(13名)	工作クラブ(後期のみ)	8回×1期	延87名(12名)

(5) 児童館外で実施した事業(移動児童館)

児童館から遠方地域の公園やコミュニティセンターにスタッフが出向き遊びなどを提供する「おでかけ児童館」は、地域の子育てサロンが中止となり実施できませんでしたが、植田大坪公園でのおでかけ児童館のみ実施しました。

なお、文化小劇場や生涯学習センターとの共催事業は中止しました。

事業名	場所	人数
おでかけ児童館 in 大坪 (乳幼児への遊びの提供)	植田大坪公園	31名 (14組)

(6) 天白福社会館との合同事業 (世代間交流の促進)

福社会館の一般利用が休止状態で合同事業が困難であったため、夏まつりをはじめ全ての事業を中止しました。

事業名	開催予定日	備考
夏野菜の植付け (中止したが児童館・福社会館職員が植え付け)	4/30	中止
福社会館・児童館 合同夏まつり	7/18	中止
福社会館 作品展	11/26~27	中止
春まつり	11/28・29	中止

(7) 中学生の学習支援事業

ひとり親・生活保護や生活困窮家庭の中学生に、学習方法や学習習慣の定着を図り、確かな学力や進学意欲を醸成する学習支援を実施しました。

中学生の学習支援 登録数	実施回数	参加者数	利用料
21名(中1:5名, 中2:6名, 中3:10名)	46回	延606名	無料

(8) 高校生の学習継続支援事業

中学生の学習支援事業に参加した生徒が進学後に安定した高校生活を継続できるよう、自主学習の場を提供し、相談に応じる継続支援を実施しました。

高校生等の継続支援 登録数	実施回数	参加者数	利用料
7名(高1:5名, 高2:2名, 高3:0名)	46回	延215名	無料

(9) サービス向上委員会

子育て支援団体や機関等の代表者で構成するサービス向上委員会は、新型コロナウイルス感染予防のため書面開催としました。

第1回: 9月11日付書面 第2回: 3月15日付書面

VI 法人運営

1 理事会・評議員会

【理事会】

回	開催日	場所	出席者数／定数	主な内容
みなし決議 (第1回)	令和2年 6月30日 (※決議日)		13名／15名 (※同意者数)	令和元年度事業報告・資金 収支決算 等
みなし決議 (第2回)	令和2年 12月18日 (※決議日)		13名／15名 (※同意者数)	役員候補者の提案 等
第79回	令和3年 3月22日	区役所	11名／15名	令和3年度事業計画・資金 収支予算 等

【評議員会】

回	開催日	場所	出席者数／定数	主な内容
みなし決議 (第1回)	令和2年 7月22日 (※決議日)		41名／42名 (※同意者数)	令和元年度事業報告・資金 収支決算 等
みなし決議 (第2回)	令和3年 1月5日 (※決議日)		40名／42名 (※同意者数)	役員の一部改選
第64回	令和3年 3月22日	区役所	29名／42名	令和3年度事業計画・資金 収支予算 等

1 天白区東部いきいき支援センター

保健・福祉・医療の側面から、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活していけるように支援するため、平針南・平針・平針北・原・植田・植田南・植田北・植田東・しまだ・高坂・相生の11小学校区を圏域とする天白区東部いきいき支援センター・分室を運営しています。

【主な取り組み】

① 介護保険予防給付管理事業

要支援及び事業対象者と認定された方のケアプラン作成等を行っています。

	事業対象者	要支援1	要支援2
令和3年3月末給付管理ケース数（延数）	821 件	3,242 件	6,751 件
（内訳）委託ケース（74 事業所）	321 件	1,647 件	4,325 件
（内訳）当センター直営ケース	500 件	1,595 件	2,426 件

② 高齢者総合相談の実施

高齢者やその家族、地域の方からの保健・医療・福祉についての各種相談（虐待相談、成年後見制度、消費者被害など高齢者の権利擁護に関する相談を含む）に応じています。

種 別	新規実数	延べ相談回数
虐待関係	6 件	7 1 件
権利擁護関係	1 件	1 件
消費者被害関係	1 件	1 件
健康・福祉・介護等相談	9 8 5 件	1, 8 0 7 件

③ 認知症の方への支援

認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見・早期対応に向けた支援を行うとともに、認知症を介護する家族を対象とした家族教室・家族サロンなどを実施しています。また、認知症サポーターの養成、はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練の実施などを通じ、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりを進めています。

実施事業	実施回数	延参加者数
家族教室	前後期共に0回	0名
家族サロン	5回	63名
もの忘れ相談医による専門相談	2回	2名
認知症サポーター養成講座	8回	51名
はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練（防災編）	0回	0名

④ 高齢者の見守り支援事業

地域社会から孤立しているひとり暮らし高齢者等を対象に、地域住民、関係機関と連携しながら対象者の把握、個別の支援、地域のネットワークづくりを行っています。

	実績	備 考
対象者数(3年3月末時点)	39人	
いきいきコール利用者	18人	週1回程度の電話訪問
延べ訪問件数	150件	
支援ネットワーク件数	12件	近隣住民による見守りネットワーク等

2 天白区介護保険事業所

名古屋市社会福祉協議会天白区介護保険事業所を事務所内に設置し、連携協力しながら居宅介護支援事業及び訪問介護事業を実施しました。

① 居宅介護支援事業（令和3年3月末現在）／ケアマネジャー7名

居宅介護支援給付管理件数	216件
市介護保険認定調査受託件数	35件(年間)

② 訪問介護事業（令和3年3月末現在）／サービス提供責任者8名

利用者数	330名
なごやかスタッフ	75名

令和２年度 事業報告の附属明細書

令和２年度の実業報告に關して、定款第40条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書について、(※) 記載する事項はありません。

※記載する事項…社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」

社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会